

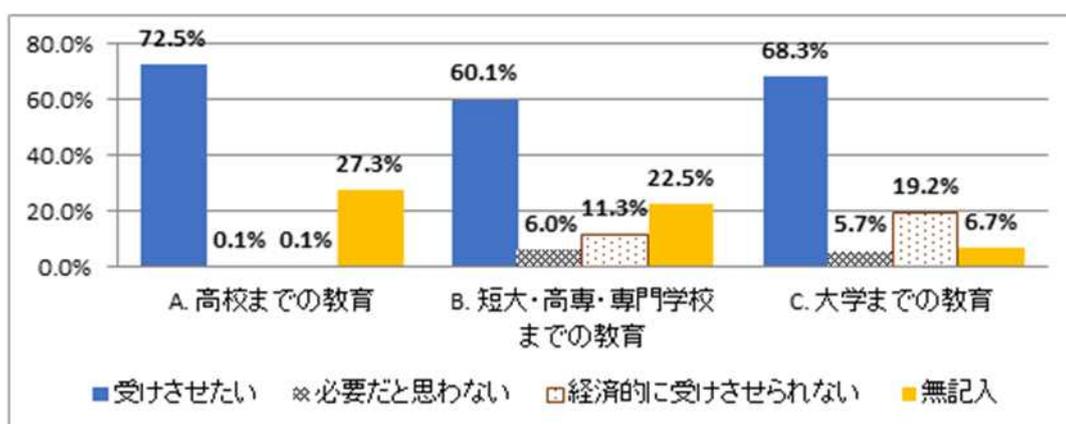
子育て世帯調査（新潟県子どもの貧困実態調査） 結果の概要

「子育て世帯調査」は、新潟県に住む子どもを取り巻く社会や経済の状況が、どのように子どもの成長や日々の生活などに影響しているかを調べ、これからの子どもや子育て環境への対策を検討していくこと及び支援を要する緊急度の高い子どもや親に優先的に施策が講じられ、より効果的な支援が実施されるよう、必要な施策の推進につなげることを目的として実施しました。

調査は県内在住の18歳未満の子どもがいる3,000世帯を対象に郵送アンケートにより実施し、そのうち回答の得られた1,695世帯について集計しました。

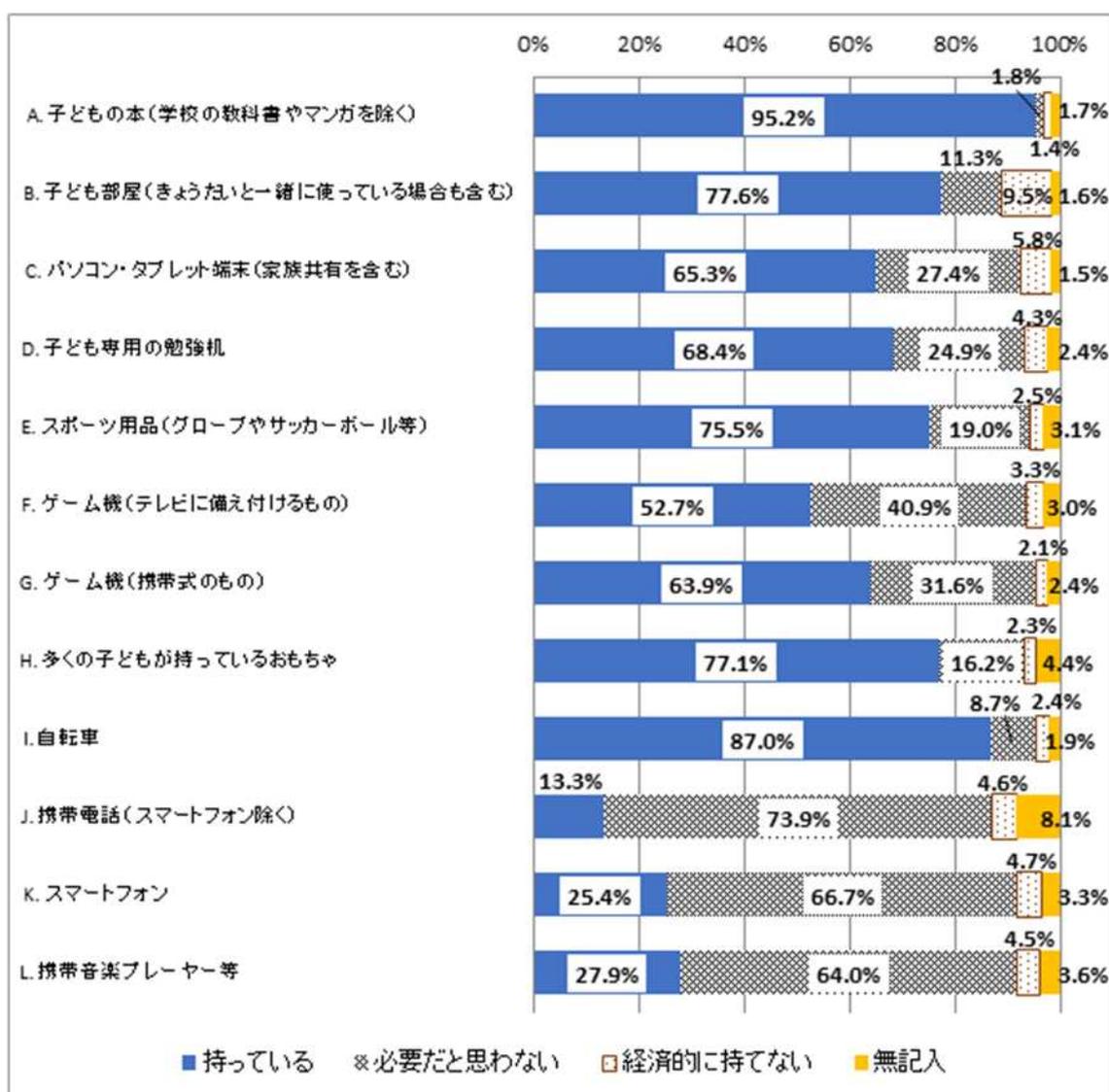
1 子どもに受けさせたい教育

○子どもにどの段階までの教育を受けさせたいか、という問いに対して、「経済的に受けさせられない」と回答した割合は高校0.1%、短大・高専・専門学校11.3%、大学19.2%となりました。



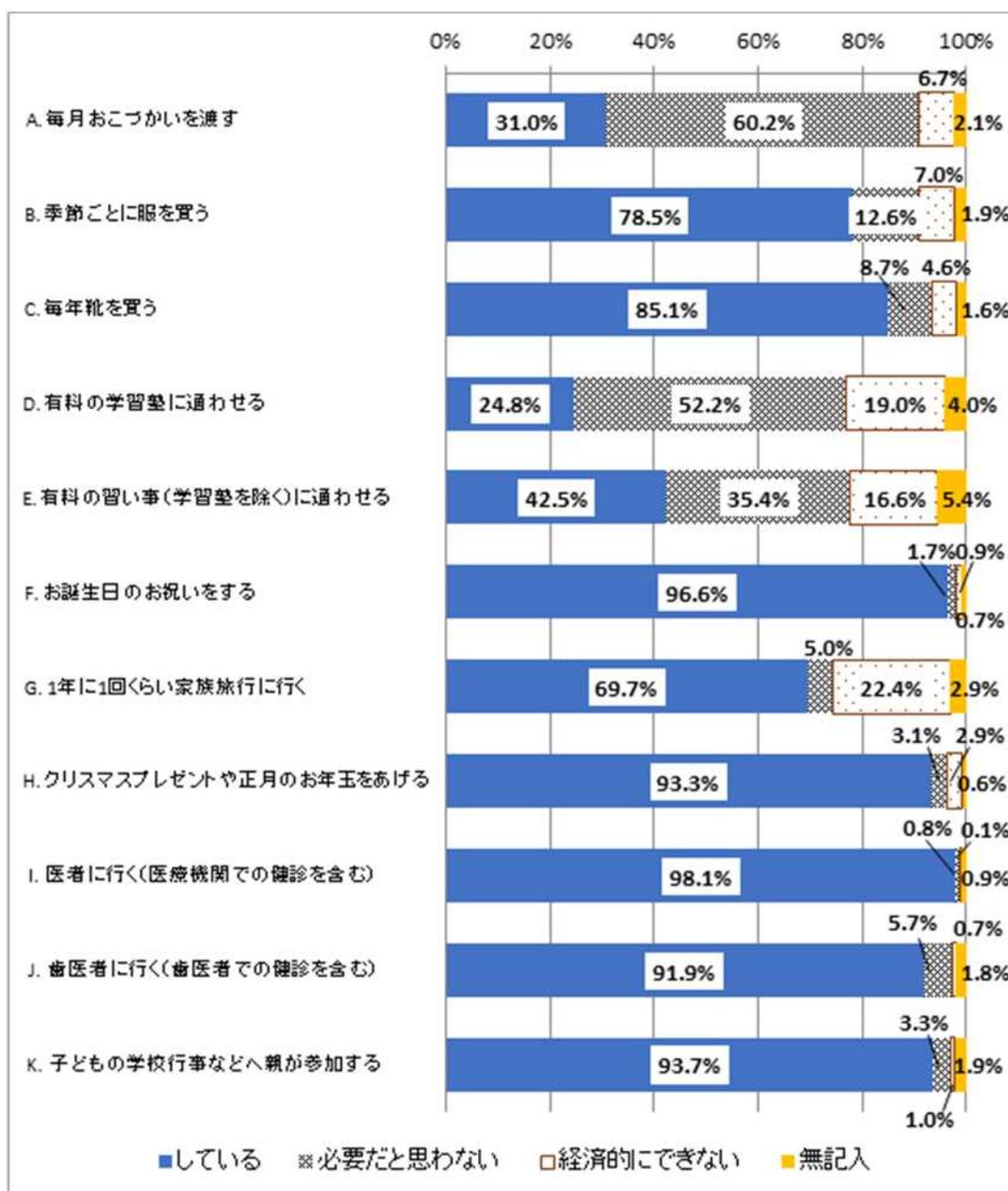
2 物品の所有状況

○子ども用に持っているものについての問いに対して、「経済的に持てない」と回答した割合は、「子ども部屋(きょうだいと一緒に使っている場合も含む)」が9.5%で最多となりました。



3 子どもへの支出

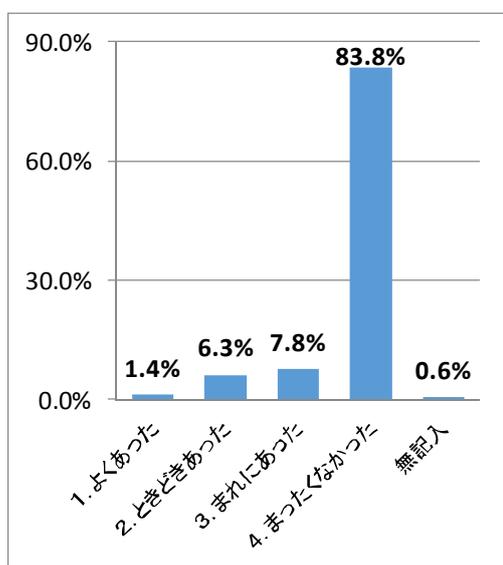
○子どもへの支出についての問いに対して、「経済的にできない」と回答した割合は、「1年に1回くらい家族旅行に行く」が22.4%で最多、ついで「有料の学習塾に通わせる」が19.0%、「有料の習い事に通わせる」が16.6%となりました。



4 困窮経験

○経済的な理由で必要な食料（嗜好品を除く）や衣料が買えなかったことがあるか、という問いに対して、「よくあった」、「ときどきあった」、「まれにあった」と回答した割合は、食料では15.5%、衣料で22.6%となりました。

○食料が買えなかった経験



○衣料が買えなかった経験

